



「森かげの赤い月」

北軽井沢の友人が送ってくれました。森の木々のシルエットの隙間に浮かぶ、真っ赤な月が素敵です。左上の青い円盤は、月の「ゴースト」です。



「電線のすき間の月食」

職場の同僚の先生が撮った写真です。電線の隙間に見えているところがすばらしい。月食は必ず満月の日に起きるので、都会地でも少し空が見えれば観望できます。これもそういうことがわかる写真ですね。



「煙突と月食」

友人の鳥類の専門家が、千葉縣市川市で撮影した写真です。思わず、盆踊りの「炭坑節」を思い出してしまいました。しかし撮影者に聞いたところ、煙突ではなく、となりの農家の「ドッグラン」のポールだそうです。こんな単純な構造物でも面白い写真になります。



番外編「魔物の谷の月食」(YouTube より)

ウェーバー作曲の歌劇「魔弾の射手(まだんのしゃしゅ)」の一場面です。悪魔ザミエルに魂を売ったカスパーという男が、月食の晩に魔物の谷で「魔弾」という鉄砲の弾を作る、迫力のシーンです。恐らく月食が登場する唯一のオペラでしょう。YouTube で全幕見られますが、ドイツ語で字幕はありません。

<https://www.youtube.com/watch?v=tzoxWIXZ9KU>

動画で見ると、実際の月食とはだいぶちがいますが、皆既月食の始まりから終わりまでが、背景に再現されています。この歌劇では、全役の中でカスパー役の歌が最も難しく、高い歌唱力を要求されます。



「雲に浮かぶ月食」

熊本の卒業生が送ってくれました。曇っていてあきらめかけた時に、雲の切れ目に真っ赤な月が見えたそうです。美しく、感動的な写真ですね。



「見事なターコイズフリンジ」

川崎市の理科の先生作品です。珍しい「ターコイズフリンジ」をピントも露出もドンピシャで決めています。学術的にも価値のある一枚です。



「皆既月食全貌」

多摩地区の小学校の先生作品です。部分月食の開始から、全部が終わるまでをすべて記録しています。

技術だけでなく忍耐力も必要な撮影で、「学校で子どもたちに見せたい」という、心意気と優しさを感じる月食写真の傑作です！